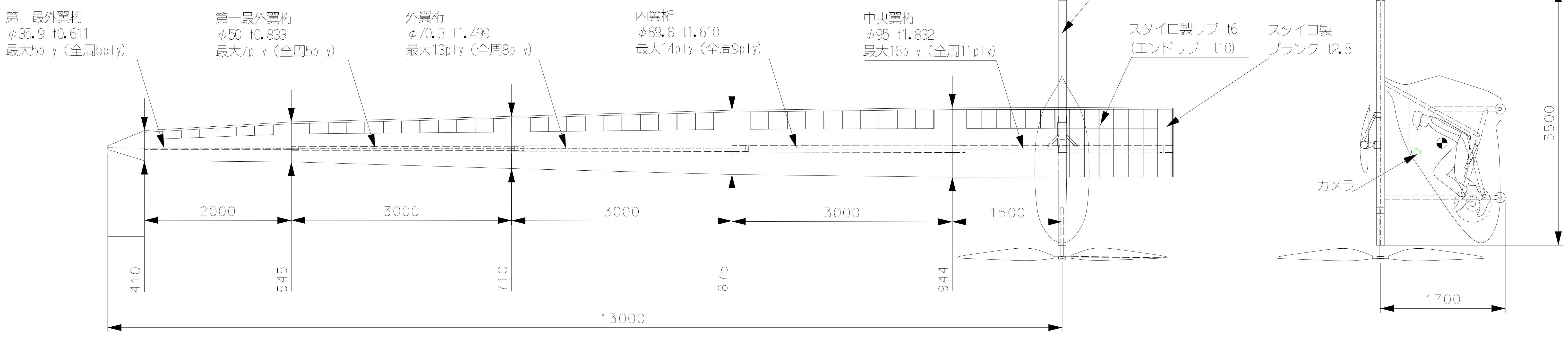


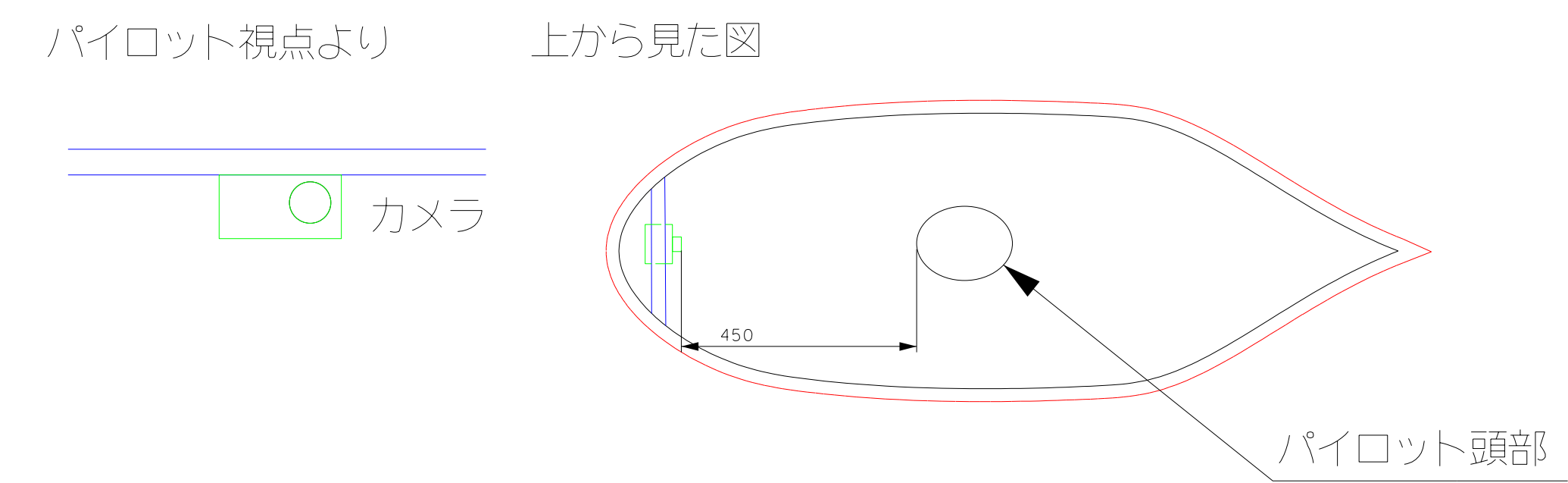
全機諸元		主翼諸元		水平尾翼諸元	
全備重量	90.7 [kg]	面積	18.9 [m ²]	面積	1.29 [m ²]
機体重量	32.7 [kg]	スパン	26.0 [m]	スパン	2.04 [m]
設計機速	10.1 [m/s]	アスペクト比	35.9	モーメントアーム	4.32 [m]
必要出力	295.5 [W]	平均空力翼弦	0.784 [m]	アスペクト比	3.23
飛行速度	8.7~11.3 [m/s]	翼面荷重	4.81 [kg/m ²]	尾翼容積	0.375
	254.7~355.3 [W]	設計取付角	3.81 [deg]	動フアクタ比	2.06
重心位置	37% MAC	翼型	オリジナル	翼型	NACA0012
操舵方式	フライバイワイヤ				

プロペラ諸元		垂直尾翼諸元	
設計法	Iarrabeeの方法	面積	1.22 [m ²]
回転半径	1.42 [m]	スパン	2.28 [m]
推力	25.6 [N]	モーメントアーム	5.09 [m]
効率	0.90	アスペクト比	4.25
翼型	NACA0055, GEMINI SD7030を混合	尾翼容積	0.0125
		動フアクタ比	0.0024
		翼型	SD8020



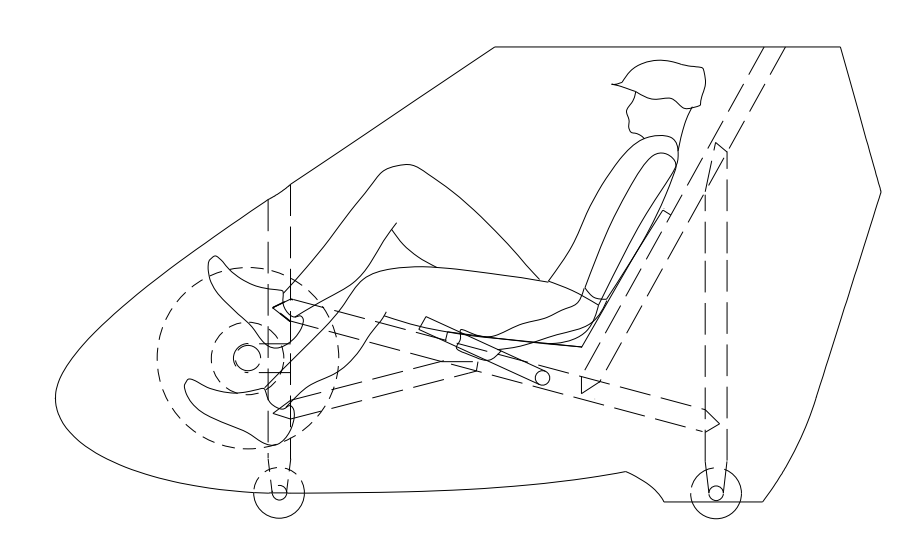
カメラ位置

カメラマウントはフェアリングの骨組みを構成するスタイロバルサ複合材でつくる。フェアリング側面の骨組みから橋渡し構造でマウントを設け、マウントに両面テープとガムテープでカメラを取り付ける。



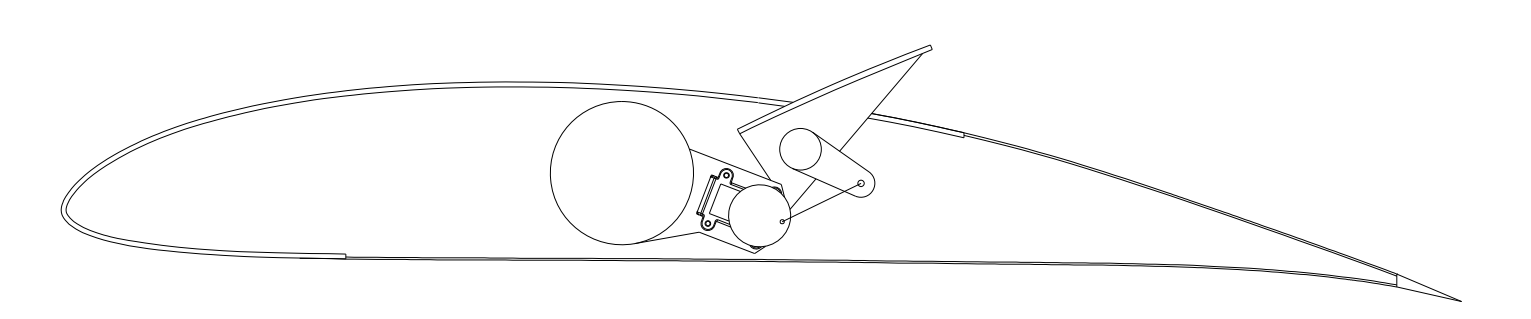
フライト姿勢

スタンバイ時、発進時、フライト時で姿勢は同一である。足をペダルにピンディングで固定し、手で操縦桿を握る。



スポイラ詳細

旋回、着水を補助するためにスポイラを用いる。バンク角15度からの復帰、速やかな着水を可能にする。シンプルな構造で製作しやすい。



早稲田大学宇宙航空研究会 WASA
 ~WASAはこの100秒で進化する~

Thermopylae

早稲田大学宇宙航空研究会 WASA Thermopylae	
提出日時	2015年2月27日
尺度	1:25
パイロット	徳安陽一
設計責任者	吉田秀和